

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公表番号】特表2000-502960(P2000-502960A)

【公表日】平成12年3月14日(2000.3.14)

【出願番号】特願平9-525198

【国際特許分類第7版】

B 2 4 D 3/00

B 2 4 D 3/28

B 2 4 D 11/00

【F I】

B 2 4 D 3/00 3 4 0

B 2 4 D 3/00 3 2 0 A

B 2 4 D 3/28

B 2 4 D 11/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月26日(2003.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年 8月26日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成09年特許願第525198号

2. 補正をする者

氏名(名称) ミネソタ・マイニング・アンド・
マニュファクチャリング・カンパニー

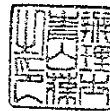
3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲



5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り方 式
審 査

[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. (a) 繊維性または発泡体有機基材を、
複数の可融性有機バインダー粒子と、
複数の研磨粒子と、
を含む乾燥した微粒子材料と接触させることと、
(b) 前記有機バインダー粒子を液化させて、前記研磨粒子が中に分散された流動性の液体バインダーを提供することと、
(c) 前記流動性の液体バインダーを凝固させ、前記研磨粒子を前記基材に接着させて、研磨製品を提供することと、
を含む、研磨製品を製作する方法。
 2. 前記可融性有機バインダー粒子が前記乾燥した微粒子材料の総重量の90～15重量%含まれ、前記バインダー粒子が温度活性化熱硬化性材料および温度活性化熱可塑性材料から成る群から選択され、前記可融性有機バインダー粒子が、フェノールホルムアルデヒド樹脂、フェノプラスト類、アミノプラスト類、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、アルキド樹脂、アリル樹脂、フラン樹脂、エポキシ類、ポリウレタン類およびポリイミド類から成る群から選択される、請求項1に記載の方法。
 3. 請求項1に記載の方法で製造された研磨製品。